



2014

3/21 [金] ~ 5/6 [火]

アマチュア写真家の大橋宇三郎氏と洋氏親子が撮影した琵琶湖とその周辺のさまざまな風景や人々の、昭和と平成の時代の変化を、「湖東のまち・彦根」、「昭和の子どもたち」、「湖国の営み」、「湖国の祭事」、「お多賀さんの一年」、「国宝 彦根城」、などにより展示します。また、多賀町立文化財センターで収集している昔の写真も展示します。

大橋宇三郎・洋
親子の写真展

写真で見る昭和の近江



会場：あけぼのパーク多賀ホールギャラリー

主催：多賀町立文化財センター・多賀町立博物館

共催：滋賀県立琵琶湖博物館

協力：琵琶湖博物館はしかけグループ 温故写新
多賀町立図書館

座 談 会

今昔写真が語る 多賀・彦根の暮らしと環境

4月20日(日)午後2時～

場 所：大会議室（あけぼのパーク多賀2階）

嘉田 由紀子 氏（滋賀県知事）

大橋 洋 氏（アマチュア写真家）

金尾 滋史 氏（滋賀県立琵琶湖博物館学芸員）

※内容は変更する場合があります。御了承ください。

申込み開始日：3月21日(金)～

電話にて受付いたします。(先着順60名)

大橋 宇三郎氏の紹介

大橋家は、宝暦年間より大正4年迄、鯉漁・北前船全盛期の北海道の江差で活躍した豪商で、全盛期の江差経済の一翼を担った。

大橋宇三郎は明治41年8月26日、近江商人大橋宇兵衛の嫡男として、神埼郡八幡村種（旧能登川町種）に生まれた。

東京高等師範数学科に進学し教員を目指し、写真はこの頃から始める。広島県立甲山高等女学校、滋賀県彦根商業学校、県立彦根高等女学校、などを歴任し、昭和24年から3年間、彦根市立南中学校校長を務める。

定年後は、近江兄弟社学園などで教壇に立ち、50年近い教員生活を送る。昭和32年彦根市写真連盟結成に参加し、滋賀県写真連盟会長、彦根写真連盟会長を務めるなど、アマチュア写真家の普及に貢献した功績で、昭和62年彦根市文化功績者に選ばれる。

平成3年没（享年82歳）



◆お問い合わせ（博物館・文化財センター）

TEL 0749-48-2077・0348

〒522-0314 滋賀県犬上郡多賀町四手 976-2